

三重県文語シンポジウム —古典の魅力再発見—

令和3年11月27日(土)

13時30分～15時30分(13時開場)

三重県総合文化センター
多目的ホール
津市一身田上津部田二二三四
入場無料・事前申込制
申込方法は裏面をご覧ください。

講演

文語のすすめ

文語で書くことの楽しみ

文部省唱歌

本居宣長「もののあはれを知る」説の現代的意味

土屋博 (文語の苑理事長)

中島八十一 (文語の苑監事)

高田友 (文語の苑主任研究員)

田中康二 (皇學館大学教授)

朗読

「源氏物語」

の名場面を読む

河原徳子 (日本文学研究家)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来場の際はマスク着用や手指消毒等の感染症予防対策にご協力をお願いします。
県内の感染状況により、やむを得ず中止とする場合がございます。

主催 NPO法人文語の苑・三重県



土屋 博

NPO法人文語の苑理事長。
通商産業省大臣官房審議官、国際経済交流財団専務理事、
日本オーストリアスポーツセンター理事長等を歴任。
ストックホルム、パリに駐在経験あり。

中島 八十一

NPO法人文語の苑監事、医師。東京大学大学院教育学研究科
教授、国立障害者リハビリテーションセンター学院長を歴任。
現在、同センター顧問及び長野保健医療大学副学長。



高田 友

NPO法人文語の苑主任研究員。
塾講師、予備校講師
翻訳などの執筆

田中 康二

皇學館大学文学部教授、神戸大学大学院博士課程修了。
富士フエニックス短期大学、神戸大学大学院人文学研究科教授を歴任。
専門は日本近世文学、とりわけ近世中期に発祥した国学を主として、
本居宣長の構築した古典学の解明を課題としている。
主著『村田春海の研究』（汲古書院 平成12年 日本古典文学会賞）



河原 徳子

三重県生涯学習センター文学講座講師を19年間務める。
「朗読文学サークル パティオ」主宰。
平成20年より『源氏物語を原文で読む』講座をスタートさせる。
三重県、愛知県、岐阜県で近代文学・古典文学の文学講師を務める。
主著『となりの文豪』（風媒社）、斎藤緑雨文化賞受賞。

NPO法人文語の苑について

美しく格調高き日本の文語は、世界四大文章語の一つと言われます。しかし、文語を書く
世代の高齢化が進む中、文語は今や危機に瀕しつつあります。NPO法人文語の苑は、
文語の伝統を後の世代に継承していくことを使命に、啓発のためのホームページの運営、
文語シンポジウムの開催、文語教室の運営等の事業を行っています。



募集定員 先着順150名

申込方法

往復はがきもしくは電子申請にてお申し込みください。
一回のお申込みで最大4名までお申し込みいただけます。
●往復はがき

左記項目を記載の上、三重県環境生活部文化振興課あて
お申し込みください。

- ①代表者氏名
 - ②代表者郵便番号・住所
 - ③当日連絡の取れる電話番号（及びメールアドレス）
 - ④参加者全員の氏名
- 電子申請

三重県のホームページ「三重の文化」からお申し込みください。
下記QRコードもしくはURLからもお申し込みいただけます。

申込開始日 令和3年9月17日（金）
申込締切日 令和3年11月12日（金） 必着

申込多数の場合、予定より早く締め切れる場合がございますのでご了承ください。
お申込みいただいた方には11月5日（金）以降、メールまたは往復はがきにて決定通知を
送付します。11月19日（金）を過ぎても通知が届かない場合はご連絡ください。
なお、いただいた個人情報当シンポジウム関連でのみ使用いたします。
当日の席は、全席自由席です。座席指定はありません。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用や手指消毒等の感染症予防対策に
ご協力をお願いします。

申込・問合せ先

三重県環境生活部文化振興課

〒514-8570 津市広明町13番地
電話059-224-2233

会場アクセス

●公共交通機関でお越しの場合

津駅（近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道伊勢線）西口下車
バス停「総合文化センター行き・夢が丘団地行き（系統番号89）」乗車
バス停「総合文化センター前・総合文化センター」下車すぐ

●徒歩でお越しの場合

津駅西口から約24分

●自動車でお越しの場合

伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分



【電子申請URL】

<https://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/dform.do?id=1626068957353>